



財団法人 川崎新都心街づくり財団

平成 20 年度 事業 報告

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

I. 総合報告

今年度も当財団の将来を左右する公益法人制度の改正に伴う移行先（公益／一般）の研究とこれに関する新規事業の検討に重点をおいた活動計画であった。

移行先については、検討委員会の結果を合同委員会で報告し、財団としての移行方向を確認できた。

柿生・岡上地区を中心とした懐古絵図事業は、今年度当初に計画より増部となる印刷及び配布が完了し、対外的には価値ある内容のものとして評価され、成功した事業結果となった。

また、協議会活動等は、市民の会、新百合ヶ丘駅周辺の美化活動（落書き消し）などに参加し、計画を達成したものと思われる。

全体としては、新公益法人制度に重点をおいた活動展開となると共に、当該制度に係る事業方向が見え、平成 21 年度に継続できる年度となったものと思われる。

II. 事業内容

(1) 街づくりに関する調査研究および資料整備

a) 麻生区の歴史調査研究

- ・ 柿生・岡上地区の懐古絵図事業（「地図で廻る思い出のふるさと」）の事務局として活動した。
- ・ 編集委員会 2回 注文分配 1回
- ・ 出版を祝う記念の会を開催する。

b) 書籍の発掘調査

以下の出版物を入手する。

- ・ 長沢自治会「ながさわの歩み」

発行日：平成 21 年 1 月 25 日

自治会創立 60 年を記念したもので、昭和 23 年より移り変わった町の歴史をまとめてある。

- ・ 宿河原堤桜保存会「宿河原の桜」
発行日：平成18年4月2日
保存会30周年記念誌で、二ヶ領用水にかかる桜並木の
生い立ちから地域住民による保全活動をまとめ上げたも
のである。
 - ・ 栗木町内会/栗木第二土地管理組合「栗木―明日へ語り継ぐ
―」
発行日：平成21年3月 当地区の区画整理事業に伴
い、地区の歴史と変遷並びに思い出をまとめ上げたもの
である。
- c) 新百合ヶ丘のまちづくりにおける「都市の成長要因」の分析調査
- ・ 依頼元 (社) J A総合研究所
 - ・ 目的 新百合ヶ丘におけるまちづくりを「都市の成長要因」
の分析と いう視点から整理し直し、人口減少社会における
これからの農と住の調和したまちづくりの資料とする。
 - ・ 担当研究項目
 - ①首都圏西部にみる郊外都市の成長と課題
 - ②新百合ヶ丘まちづくりの経過と特色
 - ③農家がまとめたまちづくり
 - ・ 進捗状況
H20年度の取りまとめ方針に基づき担当課題を調査
研究し、まとめ上げた。J A総研で総合的にまとめ
ている段階である。

(2) 環境整備に関する活動

- a) 市民団体への協力
場所の援助
- ・ 会議室貸し出し回数：3回
- b) 麻生交流館（やまゆり）への助成
- 従来の娯楽的なイベントから「シニア世代の社会貢献と健康」、
『日本の食品の安全』など一歩進んだものへの取り組みが見ら
れ、当財団が目標としている不特定多数の麻生区民が交流でき
る社会貢献的内容が盛り込まれ多ものとなっている。当年度は
当財団の要望（フォーラム的講演を多く盛り込むこと）を達成
した事業展開を図ったものと思える。

(3) 文化活動

- a) KAWASAKI しんゆり映画祭実行委員会助成
- ・ジュニア映画製作ワークショップ、野外上映、映画祭関連について助成を行う。
 - ・開催期間 平成20年6月末～11月3日
- b) 麻生らくがき消し隊
- ・参加回数：1回（11月）打ち合わせ2回
 - ・駅を中心に2時間／1回程度の落書き消し活動を行なう。
 - ・根気よい活動の結果、落書きの箇所および規模が減少した。
 - ・拡大活動として①百合丘②柿生③栗平地区の状況調査を行う。
 - ・21年度より独立組織として麻生区全域を対象として活動する。
- c) アートセンターに関する調査研究
- ・運営協議会2回参加（11,3月）
 - ・日数利用率（H19年度）は小劇場及び映像館とも90%を超える結果なる。
 - ・当年経過状況は、小劇場：80超公演／映像館：1300超上映となる。
- e) 共催・後援活動
- 1) 新百合イルミネーション事業（Kirara@アートしんゆり2008）を実行委員会として催した。
 - ・期間 平成20年11月22日（土）～平成21年2月14日（土）
 - ・期間中のイベント コンサート3回
 - ・協賛協力金 700万円以上（109社）
 - 2) 「芸術のまちづくりと地域の活性化」シンポジウム（共催）
当地区に集積する芸術資源を活かし、市民・行政・事業者の連帯を進めて今後のまちづくりの方向性を探る機会とした催し。
 - ・開催日：平成21年3月26日 15:00～17:00
 - ・参加者：約120名
 - ・基調講演：堀繁 氏 東京大学アジア生物資源環境研究センター教授
ポイント：おもてなしの心でまちを見直すことが重要
 - 3) しんゆり映画祭（共催）
開催日：平成21年8月23日～11月3日
 - 4) ラ シャンソン エヌ ユニセフチャリティコンサート（後援）
開催日：平成20年4月10日
入場者：1,000名
ゲスト：ペギー葉山

(4) 広報活動

- a) 財団独自のホームページ (<http://www.kncf.net/>)
- ・外部のサーバとHP契約を行った。
 - ・平成19年度の事業報告および20年度の予算を開示した。
 - ・2008年度までの地域の環境変化をアップデートした。
 - ・「麻生八景」を麻生区役所とリンク形式に変更し、新たに「地図で廻る思い出のふるさと」の内容及び閲覧場所を照会した。

(5) 各協議会、委員会などへの協力

- a) 川崎新都心街づくり推進協議会
- ・川崎市より開催要請なし。
 - ・麻生9号線の拡幅に関し、隣接民地の売買情報を入手したので、一部買取の申し込みを起こす旨を川崎市に情報提供する。
- b) その他の協議会、委員会への参画
- ・景観形成協議会4回(まちづくり局景観・まちづくり支援課)
景観維持区域内の窓面広告、のぼり旗等の広告・PR状況を調査する。
 - ・川崎まちづくりを語る会2回(区役所)
 - ・まちづくり学校5回(市民の会)
防災関連の講座及び視察研修を行う。
当該学校は21年度より独立組織として活動する。
 - ・市民の会推進協議会6回(市民の会)
 - ・麻生区暴力団等排除活動推進協議会1回(麻生警察)
 - ・麻生連絡会1回(区役所)
 - ・しんゆり・芸術のまちフォーラム(区役所)
新百合イルミネーションと共催でフードフェスタを開催する。
当財団と共催で芸術シンポジウムを開催する。

(6) 賛助会費活動

- ・会費納入金額： 3,000円。 個人 1口
- ・新百合イルミネーションに当該費用を使用する。

(7) 財団の事務報告・方針

- a) 新公益法人移行検討委員会
合同委員会で活動結論を報告した。
- b) 理事会3回(5,9,3月)開催した。
- c) 評議会2回(9,3月)開催した。

以上